

(4月24日) : ベトナム株式は低い流動性の中で上昇

ホーチミン取引所のVN指数は0.92%上昇し976.82ポイントで取引を終えた。

火曜日のVN指数は0.22%上昇した、

出来高は1億3400万株で、売買代金は2.83兆ドン（1億2150万ドル）であった。前日はそれぞれ1億5500万株と4.13兆ドンであった。

大型銘柄が市場を牽引し、VN指数は1.18%上昇し888.65ポイントで取引を終えた。

VN30指数の中で23銘柄が上昇し、5銘柄のみが下落した。

ホアファットグループ（HPG）は4.5%ほど上昇し市場を牽引した。

ホアファットへの外国人投資家の買い越しは700億ドンであった。

マッサングループ（MSN）、ビンコムリテール（VRE）、ペトロリメックス（PLX）なども上昇した。

それらの株価は0.1-2%上昇した。

証券、銀行、石油ガス、日用品などのセクターは最もよく上昇した業種であった。

それらのセクターは0.9%-1.9%上昇した。

火曜日の下落から、金融銀行株は反発した。

テクコムバンク（TCB）、ベトナム産業貿易商業銀行（CTG）、ベトコムバンク（VCB）、ベトナム投資開発銀行（BID）は大きく上昇し同セクター指数を押し上げた。

それらの株価は1.2-3.2%ほど上昇した。

ホーチミン市証券（HCM）、SSI証券（SSI）、VNダイレクト証券（VND）も上昇し、同セクターを押し上げた。

ハノイ取引所ではHNX指数は0.80%上昇し107.14ポイントで取引を終えた。

直近二営業日で HNX 指数は 1.42%ほど上昇した。

出来高は 3400 万株で売買代金は 3490 億ドンほどであった。

流動性が高くないことは投資家がいまだに積極的な取引を控えていることを示しており、市場の大きな懸念材料であるとサイゴンハノイ証券 (SHS) は語った。

流動性は 20 営業日の平均より低いため、水曜日の反発は単なるテクニカル的な反発で市場が上昇トレンドに戻るような状況を意味していないと同社は分析した。

投資家は来週にかけての連休が近づいていることを含め、警戒していると同社は語った。

VN 指数は反発し、980-985 ポイントの範囲を試すだろう、しかし短期的な見通しはいまだに悲観的であると同社は付け加えた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。